

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

1 趣旨

日本の自治体と海外の自治体の交流活動（以下「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することにより、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的として実施。

2 主催

総務省及び一般財団法人自治体国際化協会

3 表彰対象団体

自治体国際交流を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

4 表彰団体数

3 団体以内

5 審査基準

- (1) 先進性 他の模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、（実績は少なくとも）今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度、広がり 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

【審査委員】

審査委員会の審査を経て、総務省と一般財団法人自治体国際化協会が決定する。

○第 19 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員

- ・ 縣 公一郎 早稲田大学政治経済学術院 教授
- ・ 久邇 良子 東京学芸大学教育学部 教授
- ・ 荒見 玲子 名古屋大学大学院法学研究科 綜合法政選考基幹法・政治学 教授
- ・ 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
- ・ 水田 秀子 公益財団法人 かながわ国際交流財団 前専務理事
- ・ 柴垣 禎 特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事
- ・ ニーナ・ハッカライネン 外国人女性の会 パルヨン 代表理事
- ・ 荻澤 滋 公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長
- ・ 黒田 夏子 総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
- ・ 小池 潔 一般財団法人 自治体国際化協会 理事

第19回自治体国際交流表彰について

日本の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施している。(第1回から第18回までの間で、52自治体等が受賞している。)

受賞団体

- ・三芳町(埼玉県)
マレーシア セランゴール州 ペタリングジャヤ市との交流の取組
- ・公益財団法人 長岡市国際交流協会(新潟県)
アメリカ合衆国テキサス州フォートワース市、ハワイ州ホノルル市、
ドイツ連邦共和国ラインラントプファルツ州トリアー市との交流の取組
- ・北九州市(福岡県)
ベトナム ハイフォン市との交流の取組

最近の受賞団体

- 第18回(R6年5月)
 - ・公益財団法人 兵庫丹波の森協会(兵庫県)
 - ・和歌山県
 - ・美郷町(島根県)
- 第17回(R5年5月)
 - ・旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹都市委員会(北海道)
 - ・川越市、川越市姉妹都市交流委員会(埼玉県)
 - ・大阪市(大阪府)
- 第16回(R4年5月)※報道発表のみ
 - ・公益財団法人 加古川市国際交流協会(加古川市(兵庫県))
 - ・認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会(岡山市(岡山県))
 - ・沖縄県



第18回 自治体国際交流表彰(R6.5月)の式典

第19回 自治体国際交流表彰 審査委員会

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| 縣 公一郎 | (早稲田大学政治経済学術院 教授) 【委員長】 |
| 久邇 良子 | (東京学芸大学教育学部 教授) |
| 荒見 玲子 | (名古屋大学大学院法学研究科 総合法政選考
基幹法・政治学 教授) |
| 土山 希美枝 | (法政大学法学部 教授) |
| 水田 秀子 | ((公財)かながわ国際交流財団 前専務理事) |
| 柴垣 禎 | ((特活)多文化共生マネージャー全国協議会理事) |
| ニーナ・ハッカライネン | (外国人女性の会 パルヨン 代表理事) |
| 荻澤 滋 | ((公財)全国市町村研修財団全国市町村国際文化
研修所 学長) |
| 小池 潔 | ((一財)自治体国際化協会 理事) |
| 黒田 夏子 | (総務省自治行政局国際室 参事官 兼 国際室長) |